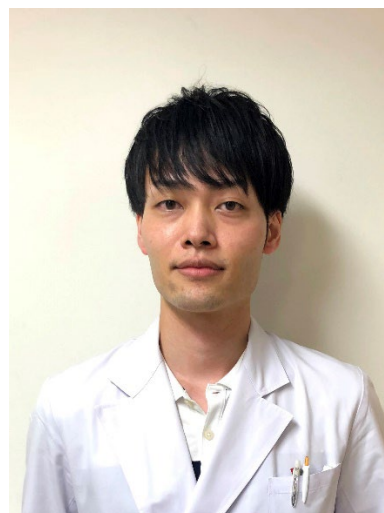


2020 年度学術推進プロジェクト研究
「LC-MS/MS を用いたセラミド測定系の一般検査領域への応用」

東京大学医学部附属病院検査部 森田 賢史



【研究のまとめと感想】

この度は、2020 年度学術推進プロジェクト研究課題に選出くださり、深謝申し上げます。本研究は高速液体クロマトグラフ-質量分析計 (LC-MS/MS) を用いて、セラミドやスフィンゴシン-1-リン酸 (S1P) をはじめとするスフィンゴ脂質の一斉定量系を確立し、この測定系を一般検査領域 (尿検査、髄液検査) へ臨床検査応用するための基盤を作成することを目的としました。結果として、尿中スフィンゴ脂質の一斉分析は腎疾患鑑別に有用な可能性が見い出されました。まだ課題はありますが、本プロジェクトのサポートを賜り一定の成果を上げることができ、心から嬉しく思います。また、この研究を通して質量分析法や統計学的解析、機械学習などに勤しむことで、今後の研究活動に生かせる知識や技術修得の良い機会になりました。本プロジェクトのような競争的資金を獲得して臨床検査に関わる研究を実施できたことは、将来の大きな財産になると思います。今後も引き続き、臨床検査医学の発展に貢献できるよう邁進するとともに、検査技師が広く研究活動に取り組むためのサポートとして、本プロジェクトの益々の発展を祈念申し上げます。